

経営比較分析表

佐賀県 唐津市

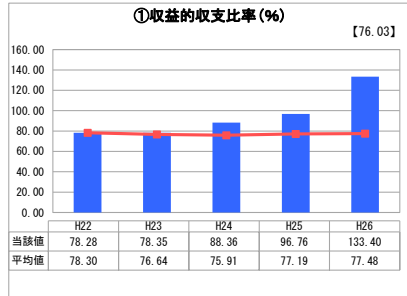
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非通用	水道事業	簡易水道事業	D1
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	10.38	3,516

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
127,536	487.54	261.59
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
13,168	43.09	305.59

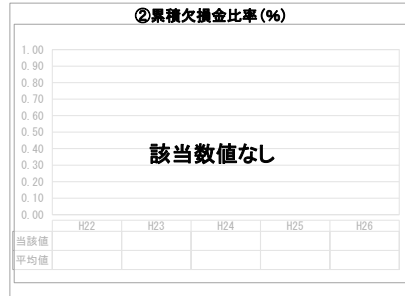
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

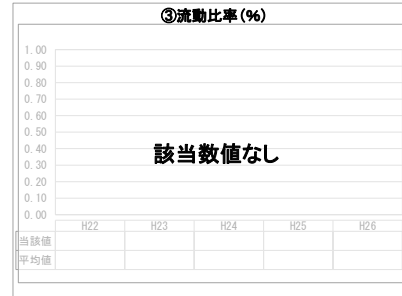
1. 経営の健全性・効率性



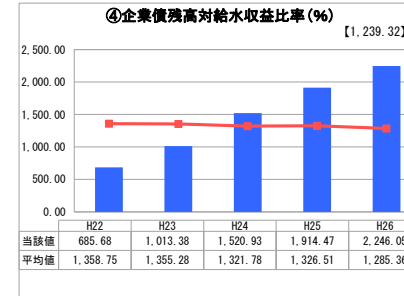
「単年度の収支」



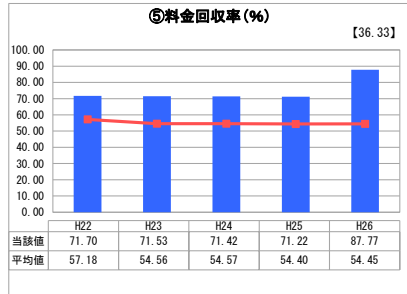
「累積欠損」



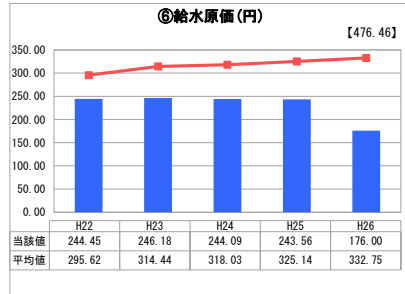
「支払能力」



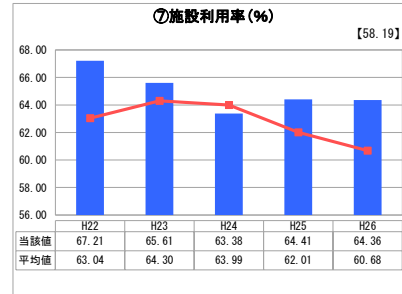
「債務残高」



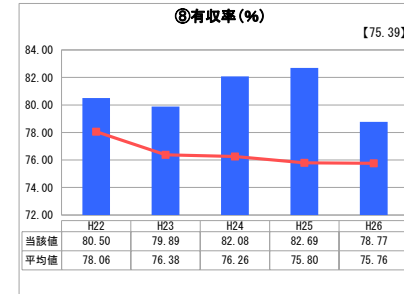
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

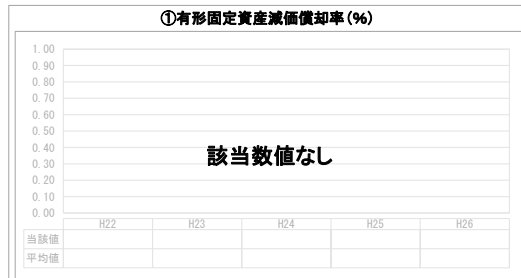


「施設の効率性」

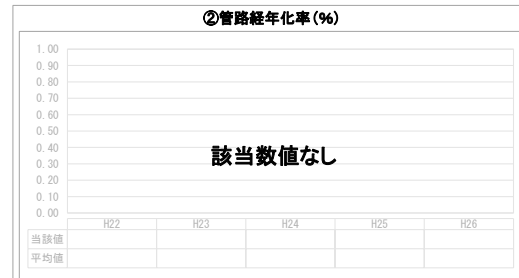


「供給した配水量の効率性」

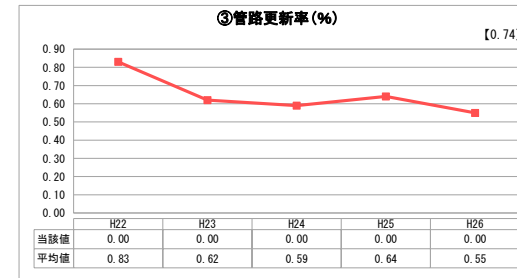
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については、類似団体平均値と同水準もしくは上回っている。
 ④企業債残高対給水収益比率については、平成27年度からの上水道との統合に向け、建設改良費が増えたため、増加している。
 ⑤料金回収率については、類似団体平均値を大きく上回っている。しかし、適切な料金収入が確保できず、一般会計からの繰入金に依存しているため、健全な経営とは言えない。
 市町村合併により平成21年に料金改定を行っているが、上水道との統合までは経過措置により完全統一ではなく、料金収入の大幅な改善はできていない。
 ※平成27年4月1日から水道事業と統合したため、平成26年度は打ち切り決算の数値であり、指標が大きく変動している。

2. 老朽化の状況について

簡易水道事業の老朽管更新については、平成21年度から上水道との統合事業に合わせて、順次行っている。

全体総括

簡易水道事業は平成27年3月3日に事業廃止し、平成27年4月1日から水道事業と統合した。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。